

“ARCH”が開設されました！

令和元年度(平成31年度)から、特別支援教室(アーチ)が開設されました。

校内の掲示物や配布物では愛着を持っていけるようARCHという表記をしています。

ARCHについて、以下に簡単に紹介いたします。



「特別支援教室アーチ(ARCH)」について

◆ARCH Q&A

Q: ARCHには、どんな生徒が通うの？

A: 通常の学級で行われる学習におおむね参加できるけれど、生活上・学習上で心配なことや困っていることがある生徒が対象です。一例ですが、

- ・好きなことに取り組んでいると、次の行動に切り替えることに時間がかかる。
- ・気になることがあると、今やっていることを忘れてしまう。
- ・勉強は得意なのに、衝動的に動いてしまう。
- ・学習内容をおおむね理解はできるが、読み書きだけができない(計算だけができない)。
- ・友達の気持ちをくみ取るのが苦手で、コミュニケーションがうまくとれない。
- ・運動や手先の動きが器用にできない。
- ・こだわりが強く、新しい環境やルールの変更がむずかしい。
- ・睡眠のリズムが乱れて、朝起きられない。

などの困り感や悩みを抱えている生徒が、在籍学級での学習や生活に円滑に参加できるように、コミュニケーションの力や社会性を育てていくのが、「ARCH」です。

Q: ARCHの先生は？

A: * 東村山第三中学校が教員配置校となり、市内7校の各中学校を巡回し指導します。ARCH担任(巡回指導教員)は6名います。学校ごとに2~3名でチームを組み巡回します。

* 各学校に専門員1名が週4日勤務しています。巡回指導教員が不在時の窓口となり、連絡や指導の補助をします。

巡回指導教員は、通常の学級と同じ中学校教員です。日頃から、困り感のある生徒への対応の仕方を研修し、指導に生かしています。ARCHの指導だけでなく、教室に入って支援をすることもあります。

Q: ARCHでの指導内容は？

A: 普段は通常の学級で授業を受けながら週に1, 2回1~8時間程度在籍学級から離れて、ARCHでの指導を受けます。指導内容は、原則として個別学習と小集団学習を組み合わせを行い、一人一人の特性に応じた課題について学びます。個別学習では、「わかった」「できた」と思える体験を積み重ね、自信と意欲を育てていきます。小集団学習では、コミュニケーションの学習や運動、制作などを通して、社会性や学習態度を身に付けさせていきます。また、ARCH担任は随時在籍学級の参観を行い、担任の先生と連携しながら指導を進めます。

Q: どのように申し込めばいいの？

A: 担任の先生、ARCHの担任、専門員にご相談ください。



【生徒目標】

- 「自分を知る」=得意なこと、苦手なことを知る。
- 「自分で選ぶ」=考えや思いをことばで伝える。
- 「自分が動く」=目標を決めてやってみる。

☆社会に出るための大切な力として、この3つの力を育てていきます。

自分らしく学べます

生徒たちが、お互いの違いを認め合い、個性を尊重し合って生き生きとした学校生活を送ることができるように、学校全体で生徒の支援体制を整えています。そのために、様々な相談機関とも連携をとっています。どの子も安心して自分の力を発揮できるように、一人一人に合った支援を行いますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

ARCH の教室紹介



設備写真①：教室



教室をカーテンで3つにわけ、一人ひとりに合った課題と向き合えるスペースになっています。

設備写真②：多目的室



小集団学習を行ったり、体操、ストレッチ、トレーニングなど、楽しみながら体を動かしたりすることができるスペースです。